

## トヨタ・子どもとアーティストの出会い in 仙台・宮城

### Program

|  | 2009年度  | 2010年度  |
|--|---|---|
| <p>現地パートナー：<br/>トヨタ・子どもとアーティストの出会い<br/>in 仙台・宮城実行委員会<br/>(事務局：吉川由美)</p> <p>『トヨタ・子どもとアーティストの出会いin仙台・宮城』は、アート力でまちと人に活力と価値をよみがえらせるアートプロジェクトを行っているENVISIと協働しました。<br/>持ち寄った土を溶かしてガラス細工をつくる活動を通じて、“自分達の住む土地”の魅力を発見！<br/>また、地域のお年寄りのお話をもとにダンスをつくったり、まちの人たちの記念日取材してオリジナルカレンダーをつくる活動を通じて、まちの中の、いろんな人の生き方に触れることができました。<br/>さらに、こどもたちが普段の遊びの中から即興音楽をつくって地域の人たちに披露する「秘密の発表会」も開催！<br/>どのワークショップも、地域に目をむけた、広がりのある活動になりました。</p> | <p>1.<br/>大崎市立川渡小学校<br/>全校児童 128名<br/>2009年6月30日[火]–8月9日[木]<br/>アーティスト：村山耕二 (ガラス)<br/>授業領域：総合的な学習の時間</p> <p>2.<br/>仙台市立市名坂小学校<br/>6年生 101名<br/>2009年11月12日[木]–12月18日[金]<br/>アーティスト：山本耕一郎 (現代アート)<br/>授業領域：総合的な学習の時間</p> | <p>3.<br/>大和町立鶴巣小学校<br/>5・6年生 34名<br/>2010年11月1日[月]–22日[月]<br/>アーティスト：千葉里佳 (ダンス)<br/>授業領域：総合的な学習の時間</p> <p>4.<br/>仙台市立東四郎丸小学校<br/>5年生 76名<br/>2009年11月25日[木]–30日[火]<br/>アーティスト：片岡祐介 (音楽)<br/>授業領域：総合的な学習の時間</p> |

## プログラム紹介

大崎市立川渡小学校

全校児童 128名

2009年6月30日[火]–8月9日[日]

アーティスト:村山耕二 (ガラス)

授業領域:総合的な学習の時間

ガラス作家の村山耕二氏が、大崎市立川渡小学校を訪問、授業時間や夏休みを児童とともに過ごし、『みんなの大地』～子どもたちと作る鳴子ガラス～と題したプロジェクトを実施しました。

それぞれがお気に入りの場所や特別な場所から一握りの砂を持ち寄ります。持ち寄った砂を集め、高温で溶かし、シンボルや宝物となるようなガラス細工を創作し、最終日には除幕式を執りおこないました。

自分たちで持ち寄ったいつも見慣れた砂が、なんとガラスになる!そんな驚きの発見をしながら、できあがったガラスを使って宝物オブジェをつくりました。

そしてその後、ガラスの作品は鳴子五湯を巡回展示し、たくさんの地域住民の方に見ていただくことができました。

「トヨタ・子どもとアーティストの出会い

in仙台・宮城」実行委員会(ENVISI)

TEL: 090-3123-0956

E-mail: daha-yy@kk.ij4u.or.jp

URL: <http://www.envisi.org>



全校児童128名と保護者100名が、それぞれ大切な思い出のある場所の砂を持ち寄った。持ち寄った砂に込められたひとりひとりの思いを紙に書いて砂のサンプルと共にはりだした。約200人の思いが体育館の壁にずらりとはりだされた。



大切な砂をひとつにして、地球の内部と同じ装置に投入!窯の中は1300℃。大切に専用のシャベルに移して一粒まで大切に窯の中に入れた。窯のふたが開くとすごい熱が噴き出してくる。窯の温度を下げないように、すばやく窯に砂を入れる作業をする。すごい熱さで顔が焼けそうになり、思わず手を離しそうになるのをこらえて、各グループごとに砂を投入。



真っ赤なガラスに自分の印を金属の道具で入れていく。金づち、のみ、火箸、灰かき、ドライバー、スプーン、フライ返し、レンチなどなどさまざまな道具が登場。おじいさんが使っていたという先祖代々の骨董品も登場した。



光に透かしてみるときれいな黄色みがあった緑色だった。ひとりひとりの印がつけられて、一個一個ちがうガラスのメダルが完成した。みんなの思いがとけ合った結晶だ。



いよいよ除幕式。大崎市長や教育長、市会議員も来てくれた。子どもたちからは「砂からガラスができるなんて思いもよらなかった!」という感想が次々と述べられた。そして「村山さんやお手伝いのスタッフのみんなと友だちになれてよかった」という感想も。鳴子にある五つの温泉を訪れるみなさんに、作品を見て心を癒していただくこと、各温泉を巡回展示した。

## プログラム紹介

仙台市立市名坂小学校

6年生 101名

2009年11月12日[木]–12月18日[金]

総合的な学習の時間

アーティスト:山本耕一郎 (現代アート)

『まちカレ』～このまちのカレンダー～  
「新興住宅地に住んでいる子どもたちに地域のことを知ってほしい」という学校の先生の思いをうけ、現代美術家の山本さんと6年生101人が、まちの人300名に「あなたの記念日」を取材して、オリジナルカレンダー『まちカレ』をつくりました。さらに、記念日を祝う旗『めでたいフラッグ』を創り、ワークショップ最終日に、カレンダーと旗を取材先に届けながら、まちをパレード！いつもどこかで記念日を祝う、素敵なまちに生まれ変わりました。

アーティストが開設した「まちカレブログ」。  
☞ <http://kyworks.gloomy.jp/blog/>  
子どもたちとのコミュニケーションはいつも続いています。



## プログラム紹介

大和町立鶴巣小学校

5・6年生 34名

2010年11月1日[月]–22日[月]

総合的な学習の時間

アーティスト:千葉里佳 (ダンス)

『ダンスde人生いろいろ』

コンテンポラリーダンサーの千葉さんと、音楽家の佐藤さんを迎え、子どもたちが地域のお年寄りに聞いたお話をもとに踊りを創りました。戦争中に空腹をがまんして外で遊んだこと、家から7キロ離れた学校に通ったこと、地域に伝わる盆踊りのこと、様々な人の人生をおどりにしました。創る時には仲間と沢山話しをしてケンカになることもありましたが、それを乗り越えてつくったダンスは、来場くださった地域の方々の心を動かすような力強い表現となりました。



## プログラム紹介

仙台市立東四郎丸小学校

5年生 76名

2010年11月25日[木]–30日[火]

音楽、総合的な学習の時間など

アーティスト：片岡祐介（音楽）

### 『ひみつの音楽会』

身のまわりにあることや、クラスのイメージなどを言葉にすることが音楽！？

音楽家の片岡さんと一緒に机や、自分の体を叩いたり、思ったことを言葉にしてラップにする等、あそびの中からクラス毎に音楽を作りました。最後に演奏発表会をし地域の方へ披露。いつも体調不良で休んでしまう子や、どうしても教室に入れない子どもたちもそれぞれに自分の方法で音を出して参加。「綺麗に演奏するだけが音楽ではない、音って楽しい！」と気づくワークショップになりました。



## 市名坂小学校6年生児童 感想

•山本さんにはチラシ作り、チラシ配り、取材、はた作り、カレンダー作りのことを教えていただきました。

チラシ配りでは、一番はじめにセーユー付近で、豊口さんにカレンダーのことを話しました。そうしたら快くチラシを受け取っていただきました。チラシを受け取ってもらった時は、とても嬉しかったです。次に、近くにいた永田さんにカレンダーのことを話しました。そうしたらちょっと悩んでいた様子だったけどチラシをもらって

くれました。ぼくはほっとしました。取材にご協力いただいたのは、豊口さんと永田さんでした。とても感謝しています。今回の企画では、お二人だけではなく地域の多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。おかげでりっぱですてきな「まちカレ」をつくることができました。地域の皆さんに支えられて生活しているんだということがよく分かりました。

## 市名坂小学校教諭 感想

•多くの皆様のご協力によって、プロジェクトが良い形で進められたことが、なによりであると思います。教師だけではできないことも、多くのサポートを受けることによって実現可能となりました。子どもたちの可能性を引き出す、素晴らしい機会をいただいたと思っています。

## 川渡小学校制作アシスタント 感想

•ガラス作りということで、安全面が心配でしたが、ケガなく子どもたちが楽しんでくれたのが一番良かった。作家が、小学校に滞在している為、子どもたちも気楽に来てくれる。私も子どもたちとふれあうことで、きもちが安らぐことができた。このワークショップでは、先生方、保護者の方々、多くの方々の協力・支援があって行うことができた。アーティストになるにしても、多くの人々の協力が必要なのだとあらためて感じさせられた。